

コロナ 対策

臨時医療施設 設置実現



流山市議会議員

小田桐たかし

臨時医療施設の設置は、昨年夏の「第5波」対策として、市に加え、千葉県にも要請を実施しました。また否決されたものの、市民からの市議会陳情（令和3年第3回定例会「新型コロナウイルスの感染爆発対策に関する陳情」賛成・日本共産党、流山みらい、一人会派（社民党、立憲）。反対・流政会、公明党、自民党、一人会派（N国））が

背中を押ししました。一歩前進と
言えます。同時に、「第6波」前に整備
できなかったことを、県・市は
総括・猛省し、次へ活かす必要
があります。また学校や保育園
への定期検査は昨年7月9日に
県へ要請しており、感染爆発の
たびに、県民・市民の健康をお
びやかすような政治からの転換
が必要です。



キッコーマンアリーナと駐車場

全国・千葉県・流山市：新規感染者数が過去最多を更新し続けるもと、日本共産党が一貫して求め続けてきた臨時医療施設が市内に設置されることが分かりました。

施設は、東葛北部地域を対象にし、キッコーマンアリーナのサブアリーナや駐車場を活用。スタッフ配置は、民間へ委託し、軽症者を対象に、地元訪問看護ステーションによる経過観察をはじめ、日帰り点滴治療、トレーラーハウスを活用した1泊滞在型を実施する予定です。これにより、外来や救急窓口の負担軽減と、重症化させない早期治療が一步、改善されます。

同時に、設置主体である千葉県は、職員の独自配置も含め、責任ある運営が求められています。

約50床、2月中旬、キッコーマンアリーナで始動

初石交番前交差点の安全対策を

守谷県道以外にも、手押し信号機の設置やおたかの森駅周辺の大きい交差点における歩行者用信号機を残り時間が分かる「表示式」に切り替えること、信号機がつけられない横断歩道については、速度抑制の効果がある「立体的横断歩道（だまし絵横断歩道）」の設置、歩道側溝部のガタつき改修、右折レーンのある交差点への右折信号機設置

等も主管している関係機関へ届けました。引き続き、住み良い流山市を築くために、ご一緒に力を合わせましょう。

流山市議

小田桐 たかし



要請する加藤英雄県議（右）と小田桐たかし市議



登校時の安全対策が喫緊の課題

通行車両の交通渋滞も深刻化する初石交番前交差点。早朝、交差点で登校時の安全パトロールにあたる地域住民からは、児童生徒の登校時の安全対策を求める声が年々強まっています。

今年1月28日、小田桐たかし市議は、加藤英雄県議（柏市選出）と千葉県東葛飾土木事務所を訪問し、管轄している守谷県道の初石交番前交差点など交通安全対策等を要請してきました。

千葉県柏土木事務所や流山警察が管轄する交通安全対策についても、市民から寄せられた要望をもとに伝え、今後、報告を聞く方針です。